

子育て支援センター (仮称) を設置します

特集

和寒町では、独自政策として「子育てへの積極的な支援」を重点施策の一つに掲げ、その一環として、これまで徒歩で利用するには遠く、学童保育ではバスで送迎している状況にある児童館を 生きがいセンターへ移転し、利用者の利便性を図るため、保育所周辺を子育て支援の拠点エリアとし児童館事業、学童保育事業を集約した、子育て支援センターを設置することとしました。その概要についてお知らせいたします。

生きがいセンターは旧老人憩の家に移転しました



現在のところ、利用開始は4月1日を予定しておりますが、正式に決

（生きがいセンターは旧老人憩の家に移転しました。）

子育て支援センター(仮称)を設置
 子育て支援センターは、核家族化に伴い家族や地域の中で子育ての知識や経験を共有することがむずかしい、子育てに周囲の手助けが求めにくいなどの子育ての孤立化解消を図り、家庭内での子育てに係る不安や悩みを一人で抱え込むことのないようすべての子育て家庭を支える取り組みが必要なことから、平成21年4月1日現在、北海道で191か所、上川管内では4市13町で20か所の設置があります。
 設置にあたっては、施設の有効利用も視野に入れ、生きがいセンターを改修して整備することとし、来年の1月15日完成を目指しています。

子育て支援センターは、児童館や学童保育を併設した子育て支援拠点施設として、関係機関や子育て支援活動を行うグループ等の育成や連携を図り、気軽に参加できる施設運営をめざすほか、今まで児童館や保健福祉センターで実施していた、乳幼児のつどいや親こっこ教室、赤ちゃんサークル広場などは、子育て支援センターに集約されることとなります。

子育て支援センター(仮称)の主な特徴

定されましたら、広報わっさむ等でお知らせいたします。
 詳しくは保健福祉課(電話321-2000)までお問い合わせください。



玄関前階段については、勾配がきついことから、小さな子ども、ベビーカーや妊婦の方の出入りを容易にするためのスロープとスロープ部分にはロードヒーティング機能を設置し、冬期間も安全に歩行できるよう配慮しています。
 子育てサロン室では、子育て家庭の親と子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中語り合い、相互の交流を図る場として、更には子どもの成長にあわせた子育ての悩み、健康についての相談や情報提供を保育士や保健師により気軽に受けることができます。
 子育てサロン室の利用にあつては月水金の午前9時から12時まで自由に活用していただけるよう開放するとともに、特色のあるカリキュラムを随時取り入れたものを計画しています。



この他、調乳が可能な設備と幼児トイレには幼児用便器や沐浴場、オムツ交換台や一般トイレにはベビースhowerを備えています。

児童館機能としては、三笠山にあった三笠児童館事業の継続を基本に考えており、自由に集える集会室にパソコンの設置や静かな創作活動や読書ができる図書室、遊び等を通じふれあえる遊戯室を配置しており、遊戯室には講演や集会に活用できるような音響設備も用意されています。

学童保育室では、小学1年から3年生までの児童が集い、これまでの学童保育を継続できるよう専用スペースを設け、生活の場としての機能確保を図るとともに今までの帰宅時間午後4時を午後5時30分まで可能とします。

また、保育所との連携強化のため連絡路の設置を計画しており、保育所周辺を子育て支援の拠点エリアとして充実に図ります。

子育て支援センター（仮称）の概要図

